

生かされた命を地域のために。多賀城を「食の目的地へ」

「がん」と震災の経験が原点。特産の古代米や2階スペースの開放で、市民が集う新たな食の拠点を創る」

事業者プロフィール



屋号・法人名 レストラン&Sun
(アンドサン、東北歴史博物館内)

代表者名 深谷 晃太（ふかや こうた） 様

創業日 2024年3月11日

所在地 宮城県多賀城市高崎1-22-1

リンク [Instagram](#)



博物館の景色を楽しめる開放的な店内

創業のきっかけとお料理のこだわり

Q1.創業のきっかけと、現在の事業内容について教えてください。

東北歴史博物館内でレストラン「&Sun（アンドサン）」を運営しています。8年前に脳腫瘍の一種（神経膠腫）を患い、絶望から社会復帰を果たした経験が私の原点です。「生かされた命を大好きな地元の役に立てたい」という強い想いと、東日本大震災の際に何もできなかった無念の記憶から、食を通じた地域貢献を決意しました。多賀城は住みやすい街ですが、交通の課題などから観光客の「目的地」になりきれていないと感じています。私が培ってきた多彩なジャンルの調理経験を活かし、地元の新鮮な食材を用いた「わざわざ足を運ぶ食の拠点」を創ることで、地域の活性化と恩返しを実現すべく創業いたしました。

Q2.提供するお料理にはどのようなこだわりがありますか？

スパイスカレー初心者の方でも食べやすいように仕上げた「グリーンカレー」が自慢です。お米には多賀城の特産品である「古代米」を使用しており、この古代米を目当てに足を運んでくださるお客様もいらっしゃいます。また、「キーマカレー」に使用する大豆には、宮城の高級ブランド大豆である「ミヤギシロメ」を取り入れるなど、地産地消と品質にこだわっています。定番の定食メニューもご用意していますので、博物館の美しい景色を眺めながら、ゆっくりと食事の時間を楽しんでいただきたいと思います。



こだわり素材のカレー



特産古代米のスイーツ

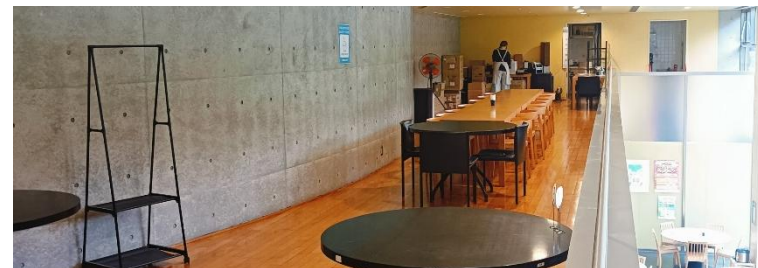
Q3.多賀城市創業支援補助金はどのように活用されましたか？

県の施設内に开店するため、通常とは異なり1年分の家賃の一括支払いが必要でしたが、そこを補助金で補填することができました。その分、浮いた自己資金を内装工事や厨房機材の充実などにしっかりと充てることができました。初期費用の大きなハードルを越えられたことで、お客様を万全の態勢でお迎えするお店づくりに集中できたのは大変助かりました。

みらい塾の繋がり未来への展望

Q4.「みらい塾」や市の支援で役に立ったことや、2階スペースの新たな取り組みについて教えてください。

多賀城・七ヶ浜商工会で確定申告や雇用保険といった実務的な書類関係のアドバイスをいただきました。また、みらい塾では同じ地域で奮闘する創業者仲間との素晴らしいマッチングの機会をいただきました。この繋がりから生まれた新たな取り組みとして、これまで団体客用やお子様連れのお客様用に限定的に使っていた「レストラン2階のスペース」を、市民の皆様の活動の場として広く提供し始めました。実は、同じみらい塾の修了生である茅野瞳さんが主宰する『COCOtaga』の活動も、この2階スペースで実施していただいています。もちろんレストランとしても、お子様連れのお客様は1組からでも2階のキッズスペースを利用可能ですので、お子様を遊ばせながら、大人はゆっくりと美味しいごはんを楽しんでほしいと思っています。



市民の活動や憩いの場となる2階スペース

Q5.今後の展望について教えてください。

短期的には、国内外の観光客や地元の方がわざわざ足を運ぶ「食の目的地」となる店舗を確立することです。将来的には、地域の歴史や文化を学びながら地産地消を楽しめる「歴史博物館×道の駅」のような複合的な観光拠点の創出を目指し、多賀城の活性化を牽引したいと考えています。また、がんサバイバーとしての経験を伝える活動を並行しつつ、災害時には自治体と緊密に連携して即座に炊き出しなどの支援活動を行える体制も構築していきたいです。食を通じて地域に深く根ざした、強く優しい事業基盤を築いてまいります。

Q6.これから多賀城で創業する方へのメッセージをお願いします。

病や震災を経験し、「生かされた命を地域のために」と創業を決意しました。多賀城の課題を食やコミュニティで解決する挑戦は、私の新たな生きがいです。創業は、ご自身の原体験や強みを社会への貢献に変えられる素晴らしい挑戦です。覚悟と情熱を持ち、一歩を踏み出せば、明るい未来は必ず拓けます。多賀城で共に歩みましょう！